



靖国神社の春祭

31年度 政府予算成立

本会の要望概ね予算化

平成三十一年度(2019年度)政府予算は、三月二十七日の参議院本会議において成立した。本会が昨年十二月、地元選出の自民党所属国会議員に対して行った陳情運動の結果、公務扶助料等の据え置きをはじめとする戦没者遺族の処遇改善や、遺骨収集事業関係費及び戦没者遺児による慰霊友好親善事業など概ね要望どおり予算化された。

本会関係では、昨年末より概ね要望に沿った予算の陳情運動を行った戦没者遺族の処遇改善項目に、戦没者遺族の処遇改善に関する要望事項は、全国では、恩給法関係における公務扶助料等は据え置きとなり、扶養加給も同額での支給が決まった。

平成30年度 本会事業実施一覧

本会主催戦跡慰霊巡拝	参加者	遺骨収集帰還事業	派遣者	収容柱
沖縄 1地域 1回	7	硫黄島(収容)	12	42
戦没者遺児による慰霊友好親善事業	参加者	旧ソ連・ハバロフスク地方(収容)	6	74
旧満州	11	旧ソ連・ザバイカル地方(収容)	2	27
旧ソ連	16	旧ソ連・ブリアート共和国(収容)	1	-
ビスマーク諸島	13	旧ソ連・クラスノヤルスク地方(収容)	2	11
西部ニューギニア	12	ビスマーク・ソロモン諸島(収容)	7	494
東部ニューギニア	11	トラック諸島(収容)	1	3
北ボルネオ・マレー半島	6	樺太・占守島(収容)	2	2
マリアナ諸島	21	パラオ諸島(収容)	2	45
トラック・パラオ諸島	12	東部ニューギニア(収容)	6	42
フィリピン(1次)	85	マーシャル諸島(収容)	1	48
フィリピン(2次)	85	ミャンマー(収容)	2	30
ソロモン諸島	8	硫黄島(掘削立会)	12	-
ミャンマー・タイ	36	マリアナ諸島(調査)	8	-
台湾・バシー海峡	13	ビスマーク・ソロモン諸島(調査)	10	-
マーシャル・ギルバート諸島	10	東部ニューギニア(調査)	6	-
中国	26	パラオ諸島(調査)	3	-
西部ニューギニア(特定地域)	10	ミャンマー(調査)	6	-
東部ニューギニア(特定地域)	11	インド(調査)	2	-
ミャンマー(特定地域)	24	マーシャル諸島(調査)	1	-
18地域 18回	410	11地域	92	818
昭和館	入館者	海外民間建立慰霊碑移設等事業	派遣者	
昭和館	417,355	ロシア・カザフスタン・フィリピン 3地域 4回	8	
巡回特別企画展(群馬県)	9,069	樺太千島戦没者慰霊碑維持管理事業	派遣者	
巡回特別企画展(香川県)	11,386	樺太 1地域 1回	2	

遺骨収集事業等では、五百万円(南方地域の遺骨調査に係る経費が二百万円、遺骨収集費が二百五十万円)、遺骨収集費が三億二千七百万円等、遺骨収集事業には七億五千五百万円(一県あたり遺骨収集費が五十五人の二億五千八百八十五人、うち、遺骨収集費が三億二千七百万円等)のうち、一人は十八歳未満の遺族がつけられた。



平成31年4月15日
第820号

一般財団法人 日本遺族会
〒100-0001 東京都千代田区千代田一丁目六番一七号
千代田会館三階
電話 03-3261-5521
03-3261-5522
03-3261-5523
03-3261-5524
03-3261-5525
03-3261-5526
03-3261-5527
03-3261-5528
03-3261-5529
03-3261-5530
03-3261-5531
03-3261-5532
03-3261-5533
03-3261-5534
03-3261-5535
03-3261-5536
03-3261-5537
03-3261-5538
03-3261-5539
03-3261-5540
03-3261-5541
03-3261-5542
03-3261-5543
03-3261-5544
03-3261-5545
03-3261-5546
03-3261-5547
03-3261-5548
03-3261-5549
03-3261-5550
03-3261-5551
03-3261-5552
03-3261-5553
03-3261-5554
03-3261-5555
03-3261-5556
03-3261-5557
03-3261-5558
03-3261-5559
03-3261-5560
03-3261-5561
03-3261-5562
03-3261-5563
03-3261-5564
03-3261-5565
03-3261-5566
03-3261-5567
03-3261-5568
03-3261-5569
03-3261-5570
03-3261-5571
03-3261-5572
03-3261-5573
03-3261-5574
03-3261-5575
03-3261-5576
03-3261-5577
03-3261-5578
03-3261-5579
03-3261-5580
03-3261-5581
03-3261-5582
03-3261-5583
03-3261-5584
03-3261-5585
03-3261-5586
03-3261-5587
03-3261-5588
03-3261-5589
03-3261-5590
03-3261-5591
03-3261-5592
03-3261-5593
03-3261-5594
03-3261-5595
03-3261-5596
03-3261-5597
03-3261-5598
03-3261-5599
03-3261-5600

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰霊救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。
戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。
次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。
年間購読料/1,560円 (1年間12回 税金・送料込)
お申込み
日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521



昭和館事業では、「昭和館の運営に係る経費」として四億八千万円が計画されている。英霊に感謝の黙祷を捧げ、大村益次郎の銅像下に設けられた特設ステージに搭乗女性コーラスグループが上がり、参集した約千五百人とともに二十数曲の懐かしい軍歌を合唱し、最後に「同期の桜」を歌唱して閉会した。なお、現在境内の桜はソメイヨシノ約六百本、山桜約三百五十本を中心に、枝垂桜やウコン桜、寒桜、四季桜、寒桜、富士桜、野中桜等千本を数える。

「同期の桜」を歌う会

4月6日に開催

四月六日、英霊にこたえる会主催の「同期の桜」を歌う会が、靖国神社の桜の花の下で同期の桜を歌う会が開催された。最初に靖国神社に眠る英霊に感謝の黙祷を捧げ、大村益次郎の銅像下に設けられた特設ステージに搭乗女性コーラスグループが上がり、参集した約千五百人とともに二十数曲の懐かしい軍歌を合唱し、最後に「同期の桜」を歌唱して閉会した。なお、現在境内の桜はソメイヨシノ約六百本、山桜約三百五十本を中心に、枝垂桜やウコン桜、寒桜、四季桜、寒桜、富士桜、野中桜等千本を数える。

「同期の桜」を歌う会
英霊に感謝の黙祷を捧げ、大村益次郎の銅像下に設けられた特設ステージに搭乗女性コーラスグループが上がり、参集した約千五百人とともに二十数曲の懐かしい軍歌を合唱し、最後に「同期の桜」を歌唱して閉会した。なお、現在境内の桜はソメイヨシノ約六百本、山桜約三百五十本を中心に、枝垂桜やウコン桜、寒桜、四季桜、寒桜、富士桜、野中桜等千本を数える。

「同期の桜」を歌う会
英霊に感謝の黙祷を捧げ、大村益次郎の銅像下に設けられた特設ステージに搭乗女性コーラスグループが上がり、参集した約千五百人とともに二十数曲の懐かしい軍歌を合唱し、最後に「同期の桜」を歌唱して閉会した。なお、現在境内の桜はソメイヨシノ約六百本、山桜約三百五十本を中心に、枝垂桜やウコン桜、寒桜、四季桜、寒桜、富士桜、野中桜等千本を数える。

「同期の桜」を歌う会
英霊に感謝の黙祷を捧げ、大村益次郎の銅像下に設けられた特設ステージに搭乗女性コーラスグループが上がり、参集した約千五百人とともに二十数曲の懐かしい軍歌を合唱し、最後に「同期の桜」を歌唱して閉会した。なお、現在境内の桜はソメイヨシノ約六百本、山桜約三百五十本を中心に、枝垂桜やウコン桜、寒桜、四季桜、寒桜、富士桜、野中桜等千本を数える。



靖国神社 永代神楽祭係

〒102-8246 東京都千代田区九段北3-1-1
電話 (03)3261-8326(代表)
FAX (03)3261-8320(直通)

◆毎年、事前に御案内状をお送りし御参列の有無や人数を伺います。
◆家族・縁故の方々も一緒に御参列できます。
◆詳しくはパンフレットを御請求下さい。

◆祭料 金一〇万円から
(御祭神一柱につき)
◆御参列の日または御希望の日をお申し込み時に御指定ください。

靖国神社では、ゆかり深い御祭神の奉慰のため永代神楽祭(命日祭)を日々齎行しております。この祭典は、一年に一度、御遺族に御参列いただき、御本殿にて齋主が祝詞の中で御祭神のお名前を奏上、続いて仕女が御神楽をお捧げするお祭りです。
一度お申し込み戴きますと、永代にわたって祭典を行います。
御祭神の御遺徳を子々孫々に継承するために、皆様のお申し込みをお待ち申し上げます。

御祭神の御遺徳を子々孫々に承継するために 永代神楽祭の御案内

靖国神社では、ゆかり深い御祭神の奉慰のため永代神楽祭(命日祭)を日々齎行しております。この祭典は、一年に一度、御遺族に御参列いただき、御本殿にて齋主が祝詞の中で御祭神のお名前を奏上、続いて仕女が御神楽をお捧げするお祭りです。
一度お申し込み戴きますと、永代にわたって祭典を行います。
御祭神の御遺徳を子々孫々に継承するために、皆様のお申し込みをお待ち申し上げます。

三地域を相次いで実施

マーシャル等から 483 柱奉還

JARRWC

日本戦没者遺骨収集推進協会（JARRWC）は、マーシャル諸島、ビスマーク諸島、ミャンマーの遺骨収集派遣団を相次ぎ派遣し、本会からもそれぞれの地域に団員を派遣した。現地での収容作業等を終えて無事帰還した派遣団は、千島ヶ淵戦没者墓苑で開催された引渡式で関係遺族が見守る中、厚生労働省へ遺骨を引き渡した。

マーシャル諸島

マーシャル諸島戦没者遺骨収集は、二月十日から三月七日の期間で実施され、本会から一人を派遣した。

また、派遣団員は収容した遺骨を専用洗骨機で洗骨し、ウオツゼ島の海岸で焼骨式並びに追悼式を行い戦没者の冥福を祈った。

二班は初めにニューブリテン島ラバウルに入り、過去に収容され東ニューブリテン州博物館に保管されていた遺骨を鑑定したが、日本兵の遺骨ではないと判定された。その後、プカ島へ移動し、現地調査派遣で収容し、ソファナ島に安置されていた遺骨を洗骨し鑑定する業務に従事した。

派遺団は、二つの班に分かれ行動し、一班はプカ島南部の村落を廻り、現地住民の情報を基に試掘を行うなどしてバナ地区で五柱、フィン地区で二十五柱を収容した。

二班は初めにニューブリテン島ラバウルに入り、過去に収容され東ニューブリテン州博物館に保管されていた遺骨を鑑定したが、日本兵の遺骨ではないと判定された。その後、プカ島へ移動し、現地調査派遣で収容し、ソファナ島に安置されていた遺骨を洗骨し鑑定する業務に従事した。

派遺団は、二つの班に分かれ行動した。プカ島で合流した派遣団は、三月一日から十四日の期間で実施された。本会から二人を派遣した。

派遺団は、二つの班に分かれ行動した。プカ島で合流した派遣団は、三月一日から十四日の期間で実施された。本会から二人を派遣した。

派遺団は、二つの班に分かれ行動した。プカ島で合流した派遣団は、三月一日から十四日の期間で実施された。本会から二人を派遣した。

派遺団は、二つの班に分かれ行動した。プカ島で合流した派遣団は、三月一日から十四日の期間で実施された。本会から二人を派遣した。

派遺団は、二つの班に分かれ行動した。プカ島で合流した派遣団は、三月一日から十四日の期間で実施された。本会から二人を派遣した。



焼骨式の準備を行う団員＝3月3日、ウオツゼ島で

二班は初めにニューブリテン島ラバウルに入り、過去に収容され東ニューブリテン州博物館に保管されていた遺骨を鑑定したが、日本兵の遺骨ではないと判定された。その後、プカ島へ移動し、現地調査派遣で収容し、ソファナ島に安置されていた遺骨を洗骨し鑑定する業務に従事した。

派遺団は、二つの班に分かれ行動した。プカ島で合流した派遣団は、三月一日から十四日の期間で実施された。本会から二人を派遣した。

派遺団は、二つの班に分かれ行動した。プカ島で合流した派遣団は、三月一日から十四日の期間で実施された。本会から二人を派遣した。

派遺団は、二つの班に分かれ行動した。プカ島で合流した派遣団は、三月一日から十四日の期間で実施された。本会から二人を派遣した。

派遺団は、二つの班に分かれ行動した。プカ島で合流した派遣団は、三月一日から十四日の期間で実施された。本会から二人を派遣した。

派遺団は、二つの班に分かれ行動した。プカ島で合流した派遣団は、三月一日から十四日の期間で実施された。本会から二人を派遣した。

派遺団は、二つの班に分かれ行動した。プカ島で合流した派遣団は、三月一日から十四日の期間で実施された。本会から二人を派遣した。

派遺団は、二つの班に分かれ行動した。プカ島で合流した派遣団は、三月一日から十四日の期間で実施された。本会から二人を派遣した。

未送還遺骨の情報収集

日本遺族会は、日本戦没者遺骨収集推進協会が海外に未送還されている遺骨に関する情報収集を行う現地調査に協力している。今回、インド、パラオ諸島の各地域に団員を派遣した。

日本遺族会は、日本戦没者遺骨収集推進協会が海外に未送還されている遺骨に関する情報収集を行う現地調査に協力している。今回、インド、パラオ諸島の各地域に団員を派遣した。

日本遺族会は、日本戦没者遺骨収集推進協会が海外に未送還されている遺骨に関する情報収集を行う現地調査に協力している。今回、インド、パラオ諸島の各地域に団員を派遣した。

日本遺族会は、日本戦没者遺骨収集推進協会が海外に未送還されている遺骨に関する情報収集を行う現地調査に協力している。今回、インド、パラオ諸島の各地域に団員を派遣した。

民間建立慰霊碑移設等事業

民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施した。

民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施した。

民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施した。

民間建立慰霊碑移設等事業は、今年二月に派遣したフィリピン・レイテ島への調査、埋設等事業を実施した。

慰霊祭行

慰霊祭は、三月十一日、東日本大震災から八年目を迎えた三月十一日、九段会館震災被害者及び東日本大震災犠牲者慰霊祭が日本遺族会事務所内で執り行われた。

慰霊祭は、三月十一日、東日本大震災から八年目を迎えた三月十一日、九段会館震災被害者及び東日本大震災犠牲者慰霊祭が日本遺族会事務所内で執り行われた。

慰霊祭は、三月十一日、東日本大震災から八年目を迎えた三月十一日、九段会館震災被害者及び東日本大震災犠牲者慰霊祭が日本遺族会事務所内で執り行われた。

慰霊祭は、三月十一日、東日本大震災から八年目を迎えた三月十一日、九段会館震災被害者及び東日本大震災犠牲者慰霊祭が日本遺族会事務所内で執り行われた。

実施予定地域

実施予定地域は、①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマール諸島、④インドネシア、⑤パラオ諸島、⑥マリアナ諸島、⑦ラバウル、⑧マーシャル諸島。

実施予定地域は、①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマール諸島、④インドネシア、⑤パラオ諸島、⑥マリアナ諸島、⑦ラバウル、⑧マーシャル諸島。

実施予定地域は、①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマール諸島、④インドネシア、⑤パラオ諸島、⑥マリアナ諸島、⑦ラバウル、⑧マーシャル諸島。

実施予定地域は、①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマール諸島、④インドネシア、⑤パラオ諸島、⑥マリアナ諸島、⑦ラバウル、⑧マーシャル諸島。

実施予定地域は、①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマール諸島、④インドネシア、⑤パラオ諸島、⑥マリアナ諸島、⑦ラバウル、⑧マーシャル諸島。

実施予定地域は、①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマール諸島、④インドネシア、⑤パラオ諸島、⑥マリアナ諸島、⑦ラバウル、⑧マーシャル諸島。

実施予定地域は、①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマール諸島、④インドネシア、⑤パラオ諸島、⑥マリアナ諸島、⑦ラバウル、⑧マーシャル諸島。

実施予定地域は、①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマール諸島、④インドネシア、⑤パラオ諸島、⑥マリアナ諸島、⑦ラバウル、⑧マーシャル諸島。

2019年度 遺骨収集派遣 実施予定表(旧ソ連地域)

地域名	派遣期間
1 ハバロフスク地方(第1次)	7月22日(月)～8月7日(水)
2 イルクーツク・ザバイカル地方	7月22日(月)～8月7日(水)
3 ハバロフスク地方(第2次、2班編成)	8月19日(月)～9月4日(水)
4 カザフスタン共和国	8月19日(月)～9月4日(水)
5 樺太・千島	11月頃

実施予定地域は、①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマール諸島、④インドネシア、⑤パラオ諸島、⑥マリアナ諸島、⑦ラバウル、⑧マーシャル諸島。

実施予定地域は、①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマール諸島、④インドネシア、⑤パラオ諸島、⑥マリアナ諸島、⑦ラバウル、⑧マーシャル諸島。

実施予定地域は、①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマール諸島、④インドネシア、⑤パラオ諸島、⑥マリアナ諸島、⑦ラバウル、⑧マーシャル諸島。

実施予定地域は、①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマール諸島、④インドネシア、⑤パラオ諸島、⑥マリアナ諸島、⑦ラバウル、⑧マーシャル諸島。

実施予定地域は、①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマール諸島、④インドネシア、⑤パラオ諸島、⑥マリアナ諸島、⑦ラバウル、⑧マーシャル諸島。

実施予定地域は、①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマール諸島、④インドネシア、⑤パラオ諸島、⑥マリアナ諸島、⑦ラバウル、⑧マーシャル諸島。

実施予定地域は、①フィリピン、②東部ニューギニア、③ビスマール諸島、④インドネシア、⑤パラオ諸島、⑥マリアナ諸島、⑦ラバウル、⑧マーシャル諸島。

日本遺族会への賛助金のお願

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族援護、慰霊及び葬送事業、遺骨収集推進等各種事業の活動のために賛助金を募っております。

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族援護、慰霊及び葬送事業、遺骨収集推進等各種事業の活動のために賛助金を募っております。

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族援護、慰霊及び葬送事業、遺骨収集推進等各種事業の活動のために賛助金を募っております。

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族援護、慰霊及び葬送事業、遺骨収集推進等各種事業の活動のために賛助金を募っております。

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族援護、慰霊及び葬送事業、遺骨収集推進等各種事業の活動のために賛助金を募っております。

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族援護、慰霊及び葬送事業、遺骨収集推進等各種事業の活動のために賛助金を募っております。

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族援護、慰霊及び葬送事業、遺骨収集推進等各種事業の活動のために賛助金を募っております。

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族援護、慰霊及び葬送事業、遺骨収集推進等各種事業の活動のために賛助金を募っております。

政府等と協議中のため、現時点では実施は未定

政府等と協議中のため、現時点では実施は未定。参加資格は、①原則年齢制限はなく、身体健康な者が現地での収容作業等に従事できる者、②各都道府県遺族会の会員、ある戦没者の遺児、孫、ひ孫、甥、姪で、日本健康推進協会が主催する「日本健康推進協会」の協賛団体として、本会事業の推進に賛同いただける者。※派遣者は健康診断書並びに宣誓書の提出が義務付けられており、参加の

政府等と協議中のため、現時点では実施は未定。参加資格は、①原則年齢制限はなく、身体健康な者が現地での収容作業等に従事できる者、②各都道府県遺族会の会員、ある戦没者の遺児、孫、ひ孫、甥、姪で、日本健康推進協会が主催する「日本健康推進協会」の協賛団体として、本会事業の推進に賛同いただける者。※派遣者は健康診断書並びに宣誓書の提出が義務付けられており、参加の

政府等と協議中のため、現時点では実施は未定。参加資格は、①原則年齢制限はなく、身体健康な者が現地での収容作業等に従事できる者、②各都道府県遺族会の会員、ある戦没者の遺児、孫、ひ孫、甥、姪で、日本健康推進協会が主催する「日本健康推進協会」の協賛団体として、本会事業の推進に賛同いただける者。※派遣者は健康診断書並びに宣誓書の提出が義務付けられており、参加の

政府等と協議中のため、現時点では実施は未定。参加資格は、①原則年齢制限はなく、身体健康な者が現地での収容作業等に従事できる者、②各都道府県遺族会の会員、ある戦没者の遺児、孫、ひ孫、甥、姪で、日本健康推進協会が主催する「日本健康推進協会」の協賛団体として、本会事業の推進に賛同いただける者。※派遣者は健康診断書並びに宣誓書の提出が義務付けられており、参加の

政府等と協議中のため、現時点では実施は未定。参加資格は、①原則年齢制限はなく、身体健康な者が現地での収容作業等に従事できる者、②各都道府県遺族会の会員、ある戦没者の遺児、孫、ひ孫、甥、姪で、日本健康推進協会が主催する「日本健康推進協会」の協賛団体として、本会事業の推進に賛同いただける者。※派遣者は健康診断書並びに宣誓書の提出が義務付けられており、参加の

政府等と協議中のため、現時点では実施は未定。参加資格は、①原則年齢制限はなく、身体健康な者が現地での収容作業等に従事できる者、②各都道府県遺族会の会員、ある戦没者の遺児、孫、ひ孫、甥、姪で、日本健康推進協会が主催する「日本健康推進協会」の協賛団体として、本会事業の推進に賛同いただける者。※派遣者は健康診断書並びに宣誓書の提出が義務付けられており、参加の

政府等と協議中のため、現時点では実施は未定。参加資格は、①原則年齢制限はなく、身体健康な者が現地での収容作業等に従事できる者、②各都道府県遺族会の会員、ある戦没者の遺児、孫、ひ孫、甥、姪で、日本健康推進協会が主催する「日本健康推進協会」の協賛団体として、本会事業の推進に賛同いただける者。※派遣者は健康診断書並びに宣誓書の提出が義務付けられており、参加の

政府等と協議中のため、現時点では実施は未定。参加資格は、①原則年齢制限はなく、身体健康な者が現地での収容作業等に従事できる者、②各都道府県遺族会の会員、ある戦没者の遺児、孫、ひ孫、甥、姪で、日本健康推進協会が主催する「日本健康推進協会」の協賛団体として、本会事業の推進に賛同いただける者。※派遣者は健康診断書並びに宣誓書の提出が義務付けられており、参加の

有無については、遺骨収集事業を主催する日本戦没者遺骨収集推進協会の判断に従う。

有無については、遺骨収集事業を主催する日本戦没者遺骨収集推進協会の判断に従う。参加登録方法、在任参加登録にあたり申込用紙を取り寄せ、全ての項目に記入したうえで、提出願いたい。

有無については、遺骨収集事業を主催する日本戦没者遺骨収集推進協会の判断に従う。参加登録方法、在任参加登録にあたり申込用紙を取り寄せ、全ての項目に記入したうえで、提出願いたい。

有無については、遺骨収集事業を主催する日本戦没者遺骨収集推進協会の判断に従う。参加登録方法、在任参加登録にあたり申込用紙を取り寄せ、全ての項目に記入したうえで、提出願いたい。

有無については、遺骨収集事業を主催する日本戦没者遺骨収集推進協会の判断に従う。参加登録方法、在任参加登録にあたり申込用紙を取り寄せ、全ての項目に記入したうえで、提出願いたい。

有無については、遺骨収集事業を主催する日本戦没者遺骨収集推進協会の判断に従う。参加登録方法、在任参加登録にあたり申込用紙を取り寄せ、全ての項目に記入したうえで、提出願いたい。

有無については、遺骨収集事業を主催する日本戦没者遺骨収集推進協会の判断に従う。参加登録方法、在任参加登録にあたり申込用紙を取り寄せ、全ての項目に記入したうえで、提出願いたい。

有無については、遺骨収集事業を主催する日本戦没者遺骨収集推進協会の判断に従う。参加登録方法、在任参加登録にあたり申込用紙を取り寄せ、全ての項目に記入したうえで、提出願いたい。

有無については、遺骨収集事業を主催する日本戦没者遺骨収集推進協会の判断に従う。参加登録方法、在任参加登録にあたり申込用紙を取り寄せ、全ての項目に記入したうえで、提出願いたい。

トロサ市役所敷地内で地蔵尊を移設するため、台座を構築する作業員＝3月16日、レイテ島で

トロサ市役所敷地内で地蔵尊を移設するため、台座を構築する作業員＝3月16日、レイテ島で

トロサ市役所敷地内で地蔵尊を移設するため、台座を構築する作業員＝3月16日、レイテ島で

トロサ市役所敷地内で地蔵尊を移設するため、台座を構築する作業員＝3月16日、レイテ島で

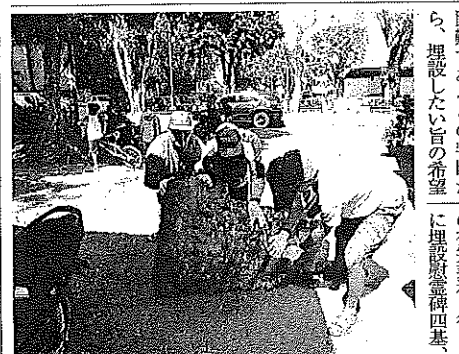
トロサ市役所敷地内で地蔵尊を移設するため、台座を構築する作業員＝3月16日、レイテ島で

トロサ市役所敷地内で地蔵尊を移設するため、台座を構築する作業員＝3月16日、レイテ島で

トロサ市役所敷地内で地蔵尊を移設するため、台座を構築する作業員＝3月16日、レイテ島で

トロサ市役所敷地内で地蔵尊を移設するため、台座を構築する作業員＝3月16日、レイテ島で

トロサ市役所敷地内で地蔵尊を移設するため、台座を構築する作業員＝3月16日、レイテ島で



トロサ市役所敷地内で地蔵尊を移設するため、台座を構築する作業員＝3月16日、レイテ島で

トロサ市役所敷地内で地蔵尊を移設するため、台座を構築する作業員＝3月16日、レイテ島で

好問 友訪 慰親 靈善 四地域相次いで実施 亡き父たちの足跡辿る

日本遺族会では戦没者遺児による慰霊友好親善事業の「特定地域」、マリーシャル諸島、フィリピン、中国、中国地域を相次いで実施した。四地域に総勢百四十五人の戦没者遺児が参加し、永年の念願であった父の眠る地において慰霊追悼を行うと共に病院・小学校を訪問し、車椅子や学用品等の寄贈や植林活動等の友好親善を行った。

ミャンマー

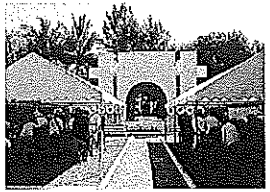
市來徳之助本会副会長（山口県遺族連盟会長）を総括団長とするミャンマー慰霊友好親善訪問団二十四人は、二月二十六日東京の九段にある靖国会館で結団式を行い翌日、父終焉の地ミャンマーに歩を印した。一行は二班に分かれ、それぞれ慰霊地へと向かった。A班は、今回初めての訪問となったラオス各地で慰霊祭を行い、周辺各地で遺骸発掘調査に臨み、父たちに積年の想いを語りかけた。また、マングレー街沿いのベグラーの寺院やビュン郊外レップンコ村のシットン河畔、トンゲー郊外の寺院、ヤンゴンで慰霊祭を行い、共に散華された花蓋の冥福を祈った。

マインヒル、フーコン谷地

隣接のモガウン、ミートキーナでそれぞれ慰霊祭を行った。

友好親善としてA班は、本会が平成十四年四月に寄贈したベグラーのカドウィンチャン小学校を訪問し、学用品等を寄贈した。B班は平成十三年四月に寄贈したアキヤブのバンドウタズー小学校を訪問し、学用品等を寄贈し、生徒や先生と交流を深め、記念植樹を行った。また、ラオスとミートキーナの病院でそれぞれ車椅子を寄贈した。

三月四日、ヤンゴンの北オカラッパ「ビルマ平和記念碑」で全戦没者追悼式を挙行し、花蓋に感謝と哀悼の誠を捧げ、六日帰国の途についた。



北オカラッパ「ビルマ平和記念碑」での全戦没者追悼式。3月4日

マインヒル、フーコン谷地

安齋清本会副会長を団長とするマインヒル、フーコン谷地訪問団（団員八人）は、三月九日に靖国会館で結団式を行い、翌十日グアム島へ移動した。

フィリピン

フィリピン慰霊友好親善訪問団（総括団長 関谷忠、日本遺族会理事）は三月十三日、三十四都道府県の戦没者遺児八十五人（他、付添者六人）が東京・靖国会館に集合し、結団式を行い、翌日フィリピンに向け成田空港を出発した。

午後、首都のマニラに到着し、一行は六班に分かれ、それぞれ亡き父の眠る地へ移動し、翌日より慰霊追悼を行った。一方、フィリピン島のA・B・D班はマニラ市内のタギック地区にある「無名戦士の墓」に赴き、碑に花輪を手向け敬意を表した。

港を出発した。

ベシオ島で追悼文を読みあげる団員。3月14日

在マニラ日本国大使館参事官佐藤命幸大使をはじめ多くの現地関係者参列のもと、全戦没者追悼式を挙行し、戦没者の冥福を祈った。

マニラ市内の東方のワル、マニラ市西の六カ所、マニラ市東の六カ所、マニラ市南のルセナ、マニラ市南のルセナ等の六カ所、C班十五人（付添者一人含む）は、マニラ市北西部のクラークバグオ周辺等の五カ所、D班十二人（付添者一人含む）は、マニラ市東部のアバリアヤツゲガラオ、バレット時周辺等

の八カ所、E班十九人（付添者一人含む）は、ネグロス島のバコロドやミンダナオ島のダバオ周辺等の三カ所、F班十七人は、セブ島市内やレイテ島のオルモック周辺、カンギボット山周辺、ブラウン等の六カ所、それぞれ慰霊祭を行い、亡き父に涙しながら積年の思いを果たした。

十九日にはカリヤラにある日本政府建立の慰霊碑前にて全班揃って、全戦没者追悼式を挙行し、英霊に感謝の誠を捧げた。また、各班とも小学校や病院を訪問し、サツカリー地へと向かい、足跡を辿った。

A班団員八人は上海鄭州、石家荘で、B班団員九人は済南、武漢、長沙で、C班団員九人は広州、桂林、衡陽の滞在中に慰霊祭を執り行い、室内に設けた祭壇に、故郷から持参した水やお供物、家族の写真などを供え、積年の思いを込めて書いた追悼文を通して、手向けの言葉や、母の言葉を父へ伝えた。

二十八日に、全班が北京で合流し、翌二十九日には、万里の長城（八達嶺）で、日中友好の植林活動を行い、コナテカシワの木を一人一本ずつ丁寧に植えた。夕刻から在来賓を懇談会に招き、日中友好の情状交換に努めた。翌三十日、所期の目的を果たした一行は無事に帰国した。

Wの木を一人一本ずつ丁寧に植えた。夕刻から在来賓を懇談会に招き、日中友好の情状交換に努めた。翌三十日、所期の目的を果たした一行は無事に帰国した。

Wの木を一人一本ずつ丁寧に植えた。夕刻から在来賓を懇談会に招き、日中友好の情状交換に努めた。翌三十日、所期の目的を果たした一行は無事に帰国した。

Wの木を一人一本ずつ丁寧に植えた。夕刻から在来賓を懇談会に招き、日中友好の情状交換に努めた。翌三十日、所期の目的を果たした一行は無事に帰国した。

慰霊友好親善事業 遺児の参加者を募集

慰霊友好親善事業には、参加者の高齢化を考慮し、看護師が同行して行い、亡き父に語りかけたい。また、マインヒル諸島（キリバス共和国）から飛行機をチャーターし、十四日はギルバート諸島（キリバス共和国）タラワ環礁、ベシオ島、十五日はウオッセ環礁、ウオッセ島を訪問し慰霊祭を行い、亡き父の足跡を辿った。

募集要項は次のとおりとなる。

■時期及び地域 実施概要参照

■参加費 10万円 ※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所から

参加者の資格審査に当

り、申込書の記入項目の全てに記入を要するの

で、事前に申込用紙を取り寄せていただく。記入項目に不明な点（戦没者の部隊名等）があれば各遺族会に相談と条件を満たしたうえで提出願いたい。

本会への賛助金のお礼

本紙（二面）でもお願

いしている本会への賛助金につきまして、ご賛同

いただきまして左記の

とおり、申込書の記入項目の全てに記入を要するの

で、事前に申込用紙を取り寄せていただく。記入項目に不明な点（戦没者の部隊名等）があれば各遺族会に相談と条件を満たしたうえで提出願いたい。

なお、申込回数の場合には選挙となる。

また、巡拝地域や交通機関等は、相手国や交通

期または中止となる場合がありますので、予めご了承願いたい。

2019年度戦没者遺児による慰霊友好親善事業概要

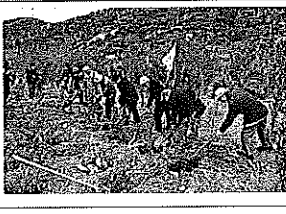
実施地域			実施時期	募集人員
1	旧満州	2019年8月上旬	40人	
2	旧ソ連	2019年8月下旬	40人	
3	西部ニューギニア	2019年9月上旬	40人	
4	ソロモン諸島	2019年9月下旬	20人	
5	東部ニューギニア	2019年10月上旬	42人	
6	トラック・パラオ諸島	2019年10月中旬	40人	
7	ボルネオ・マレー半島	2019年10月下旬	40人	
8	フィリピン（1次）	2019年11月上旬	120人	
9	マリアナ諸島	2019年11月下旬	40人	
10	ミャンマー	2019年12月中旬	60人	
11	台湾・パシー海峡	2020年2月上旬	30人	
12	ピスマーク諸島	2020年2月中旬	40人	
13	マールシャル・ギルバート諸島	2020年3月中旬	40人	
14	フィリピン（2次）	2020年3月中旬	120人	
15	中国	2020年3月下旬	80人	

実施地域			実施時期	募集人員
1	西部ニューギニア	2020年1月下旬	36人	
2	東部ニューギニア	2020年2月中旬	36人	
3	ミャンマー	2020年2月下旬	36人	

部武利、前田宗彦、平野敏雄、橋本輝子、鈴木尚加藤きみこ、宮本一美、大木昭昭、今泉有輝子、高橋節子、土屋川島空、中村泰子、北原リ子、大村葵子、安岡美佐子、根本征子、中村正子、国見昌宏、緒方慶之、板尾文生、斎藤正子、山中アキエ、後藤昭子、前多裕坂口成子、工藤から、仲田良一、中川允子、緑川千代恵、雛形明美、鈴木真石原新、齋藤征司、後藤清孝、青木章子、嶋田謙治、マエジマチユウイチロウ、アカホリミチヨ、コガトシロウ（以上、三月一日から三月五日）

月一日から三月五日）

賛助金は、本会が実施する各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただきますので、誠にありがとうございます。

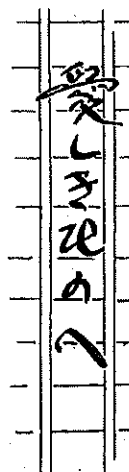


2万9千の長城での植林。3月29日

第58回沖繩平和祈願 慰霊大行進の参加者募集

日本遺族会では、毎年六月二十三日に沖繩県遺族連合会と共催で実施している「沖繩平和祈願慰霊大行進」が今年で五十八回目を迎え、参加者を募集している。この事業は、先の大戦で多くの尊い命が失われた沖繩戦を振り返り、砲弾降りしきる中、苦難の撤退を余儀なくされた戦没者が辿った道程を行進し、平和を祈願するものである。

本会は沖繩県遺族連合会と共催で実施している。先の大戦で多くの尊い命が失われた沖繩戦を振り返り、砲弾降りしきる中、苦難の撤退を余儀なくされた戦没者が辿った道程を行進し、平和を祈願するものである。



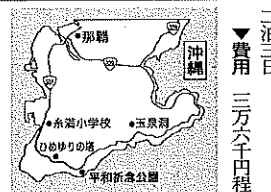
遺書

陸軍兵長 玉田 久太夫
昭和二十年四月八日
フィリピン ルソン島にて戦死
兵庫県多可郡中町出身 三十三歳

其の後変はりなきや、俺はこの度戦地に向かふについて最後に一言を記す。
お前は俺のもとに嫁いで、意気節をもつて又、温情をもつて今日まで約十一年、本当によく盡してくれた事を深く感謝する。
お前と結婚して十一年、あまり長い契りとも言へないが、思ひ出せば懐かしう、嬉しき事もあり、だ。しかし、俺も一度家を出たからは、取へて生還は期すことは出来ない。しかし、これこそ皇國男子の本懐だ。
又、俺の戦死を聞いても決して取り乱した振舞ひはしてくれな。俺は一足先にあの世とかへ行つて、お前の必ず来るのを待つてゐる。二十年三十年は長い様でも悠々の天地から見れば、ほんの一瞬だ。
(中略)
何卒、今後は身の重責を自覚して健康に注意して、俺亡き後は心丈夫にしつかりとこの世の中を渡つてくれる事、靖國の社内より折つて居る。
又、幼児成長すれば一度は靖國神社へ連れて参つてくれ。
では家内皆、達者で暮らしてくれ。なほ村の人や親類や友達にも宜しくね。
玉田志ずる殿

玉田久太夫 (原文のまま) 玉田久太夫 (原文のまま) 愛しきものへ [平成三十一年四月靖國神社社頭掲示]

- 期間 六月二十日(土)〜二十四日(月)
- 費用 三万六千円内程
- 参加者募集要項は以下の通り。
- 孫・ひ孫等の青年部が多参加され、戦争の悲惨さを語り継ぐ機会としてもらいたい。
- 参加募集要項は以下の通り。



九段短歌

選者 安元 百合子
富山県 酒井 咲子
中国は攻めあぐむ、き存在と父の教を今習ひ返す

元日に日の丸掲げて孫に見せ戦死の父のことと話す
中国は攻めあぐむ、き存在と父の教を今習ひ返す
戦没の骨なき父の奥津城に九上の母を葬る
九段短歌投稿も戦死せよ父への供養とポストに向かう
友好に遺族会の贈る車椅子病弱もまた愛みて願く
独身にて命さげし英霊に花嫁形奉納されを
万歳と小旗打ち振り送るる鉄路は父は帰らず
鳥栖市 松尾美津子



第57回平和祈願慰霊大行進=平成30年6月23日

日章旗を遺族へ返還

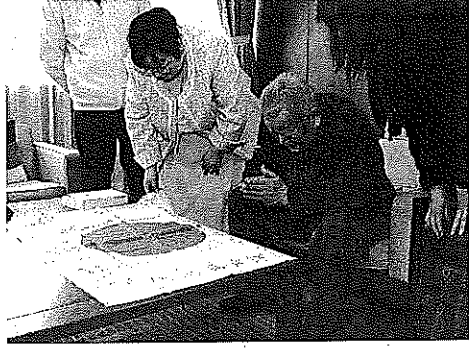
兵庫県と福島県で

本会が平成三十年度より厚生労働省の委託を受け実施している「戦没者遺留品の返還に伴う調査事業」で、兵庫県と福島県で日章旗の持ち主遺族が判明した。いずれも個人からの問い合わせで判明しており、本事業では稀なケースである。
兵庫県では、フィリピンで戦死した松江勇さん(故人)の遺族が、日章旗を赤穂郡上郡町に住む長男の実男さんに返還された。
また、日章旗は青森県むつ市役所に勤務していた米岡君(故人)の遺族が判明した。三月十七日、上郡町役場で、高島さんから直接日章旗を受け取った実男さんは、父がやると痛つてきたような気がする。日章旗を手を合わせていた。福島県では、ミャンマーで戦死した阿部隆雄さんの日章旗が郡山市に住む遺族に返還された。日章旗は、オーストラリア人の会社員リアム・チャールズワースさんが祖父から譲り受け保管していたが、遺族への返還を希望しオーストラリア大使館に相談。オーストラリア大使館が防衛省に問い合わせ、海上幕僚監部総務課から本会に照会



チャールズワースさんから日章旗を受け取った匡子さん(右)=3月25日、郡山市役所で

ふるさとへの思ひを秘めて戦死せよ父に見せし陸の梅咲く
シベリアで戦死せよ父の面影は若き日の写真そのままにして
近き親をさがして鳴く鳥が我にも似たり慰霊の旅路
甲州市 敦野 星子
大坂市 高岡 千鶴
荻原市 荻原 恭子
平成もと僅かになりました。陸下の慰霊の深い心を編織とみ歌により偲びたいと思います。
戦に散りし人に残されしからの耐えしながとせ思ふ 日本遺族会創立四十五周年に 平成五年御製
精魂をのめ戦ひし人夫だ地下に眠りて鳥は悲しき
海陸のいづへを知らず姿なきあまたの御霊守護らむ
さいはとて鳥巢その隙隙みけりしをみな足裏思へばかなし
終戦記念日に 平成八年御製
サイパン島 平成十七年みづた (遺書)



受け取った日章旗に手を合わせる長男の実男さん=3月17日、上郡町役場で

本会事業参加者の皆様へ
本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報(「個人情報保護法」の定め)に則り、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

- 実施された大会、研修会等は次のとおり。
- 平成30年度 3月2日 富山県 3月2日 平成30年度役員合同研修会(104人)
- 各都道府県遺族会で、
- 24日 県内郡市役員合同研修会・13会場において開催(558人)
- 徳島県 3月9日 第54回語り部事業(56人)
- 香川県 3月2日
- 栃木県 3月2日 平成30年度栃木県遺族連合会女性部主催研修会(280人)